

令和4年度事業報告書

I 概要

国を挙げて進められている社会全体のデジタル化の動きが進展する中、山口県においては、「やまぐちデジタル改革基本方針」に基づき、県政の幅広い分野でデジタル改革を強力に推進し、地域課題の解決と新たな価値の創造に向けた本県ならではの「やまぐちDX」の創出など全県的なDXを加速化することとされています。

このため、当財団においても、山口県におけるデジタル技術の振興を図ることにより、活力ある地域社会の実現に寄与するため、令和3年度に開設したやまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を核として、デジタル技術を活用して、様々な分野での課題解決を図るとともに、官民連携のデジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」の活動を推進するほか、デジタル人材の育成やデータ利活用の環境整備等、各種事業に積極的に取り組みました。

また、ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理については、「中期（5カ年）修繕計画」に基づき、ビル外壁廻りの大規模修繕工事を継続実施するなど、建物機能の維持・向上を図るとともに、新規テナントの確保や施設管理費等の節減を図ることにより、安定的な運営に努めました。

[事業一覧]

- 1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業
 - (1) 情報化・デジタル化の普及啓発
 - (2) 全県的なDXの推進
 - (3) オープンデータの普及・推進
 - (4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進
 - (5) コンピュータールームの管理運営
 - (6) 市町ネットワークの管理運営
- 2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業
 - (1) 不動産の管理運営
 - (2) 利用施設（イベント施設）の管理運営
- 3 情報通信の格差是正事業
 - (1) 移動通信用施設等の管理運営

II 評議員会及び理事会等の開催状況

1 評議員会

区分	開催日時・場所	議 事 等
臨時	令和4年4月5日 (書面決議)	・評議員及び理事、監事の選任について
定時	令和4年6月27日(月) 10:00～ Y-BASE (Web 併用)	・令和3年度事業報告について ・令和3年度公益目的支出計画実施報告について ・令和3年度収支決算について ・任期満了に伴う理事及び監事の選任について ・定款の変更について ・役員等の報酬等及び費用に関する規程の改正について

2 理事会

区分	開催日時・場所	議 事 等
定時 第1回	令和4年6月2日(木) 10:00～ Y-BASE (Web 併用)	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支決算について ・令和3年度公益目的支出計画実施報告について ・定時評議員会の招集について ・令和4年度職務執行状況について
臨時	令和4年6月30日 (書面決議)	・理事長、副理事長、専務理事の選定について
定時 第2回	令和5年3月27日(月) 13:30～ Y-BASE (Web 併用)	・中期経営計画について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度収支予算について ・臨時評議員会の招集について ・事務局長の選任について ・令和4年度職務執行状況について

3 監査

区分	開催日時・場所	議 事 等
監査	令和4年5月20日(金) 14:00～ NPYビル2階 第3会議室	・令和3年度事業及び収支決算等について

III 事業の実施状況

1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業

(1) 情報化・デジタル化の普及啓発

県民、行政機関、民間企業等を対象に、高度情報化やデジタル技術をテーマとした講演会等を開催するとともに、最新技術やソリューション（解決方策）の普及に向けたデジタル展示会を開催した。

○ デジタル技術等に関する講演会・展示会の開催

名 称	Well-being(※)にあふれるデジタル社会を目指して
開 催 日	令和4年9月8日(水) 10時00分～17時00分
会 場	多目的シアター
主 催 者	山口県・(一財)山口県デジタル技術振興財団
内 容	<p><特別講演></p> <p>「デジタル化と Well-being」 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 前野隆司氏</p> <p>「デジタル田園都市国家構想と Well-being」 (一社)スマートシティ・インステイテュート専務理事 南雲岳彦氏</p> <p><トークセッション></p> <p>「Well-being にあふれるデジタル社会を目指して」 パネラー 前野隆司氏・南雲岳彦氏 ファシリテーター 山口県知事 村岡嗣政</p>
参 加 者	250名(現地会場100名、オンライン150名)

※Well-being(ウェルビーイング)：身体的、精神的、社会的に満たされた状態を意味する概念

名 称	やまぐちデジタルソリューション展示会
開 催 日	令和4年10月26日(水)、27日(木) 10時00分～17時00分
会 場	多目的シアター・イベントホール・Y-BASE他
主 催 者	山口県・(一財)山口県デジタル技術振興財団
内 容	<p><特別セミナー></p> <p>○スペシャルセミナー 「アバターによるDXと未来社会」 大阪大学基礎工学研究科教授 石黒 浩氏</p> <p>○先進技術トップランナーセミナー 「Re:Earthを活用した近未来のデジタルツイン実現に向けて」 (株)Eukarya 代表取締役CEO 田村賢哉氏</p> <p>「「Cluster」を活用したビジネス事例」 クラスター(株) 取締役 岩崎 司氏</p> <p><企業等展示・ピッチライブ>(下表)</p> <p>○出展企業 12社 ○ピッチライブ 14社(出展企業12社を含む)</p>
参 加 者	320名(県・市町、民間企業、各種団体、県民等)

<出展企業・ピッチライブ>

企業名	所在地	展示ソリューションPR
RPAテクノロジーズ(株)	東京都	面倒な仕事、自動化ならBizRobo!
(株)etika	下関市	CRM導入・MA導入・定着まで伴走支援
Ai Inside(株)	東京都	ノーコードAI開発・運用でDXを
NTTビジネスソリューションズ(株)	大阪府	カメラ映像の利活用で業務改善!
(株)スプリングブレス	山口市	デジタルイノベーション 2021 優秀賞受賞! 製品
(株)Spectee	東京都	AI防災・危機管理情報ソリューション
(株)ダイマグ	下関市	業務の自動化、簡単かつ安価な国産RPAツール
(株)TACT	東京都	電話対応は人からAIへ
日本電気/日本電気通信システム(株)	東京都	3D空間技術デジタルツインで快適なまちづくり
(株)マクニカ	神奈川県	AIとIoTで効率化。農業DXでお困りごとを改善!
三井住友海上火災保険(株)	東京都	官民連携DXで道路点検をサポート
(株)UCD コンサル手キング	宇部市	画像識別で粗大ごみの判別をAIが行います

<ピッチライブのみの参加企業>

企業名	所在地	ソリューションPR
(株)SUN	東京都	在留外国人に対する日本語教育のDX化
(株)SYNCHRO	東京都	事業者向けサーバーセキュリティー診断・対策

名称	先進デジタル技術活用セミナー&体験会 ～Web3.0、NFT(※)、メタバースの現在と展望について～
開催日	令和5年2月6日(月) 10時00分～17時00分
会場	多目的シアター・Y-BASE
主催者	山口県・(一財)山口県デジタル技術振興財団
内容	<セミナー> 「Web3.0とAIアートの可能性」 (株)Creator's NEXT CEO 窪田 望氏 「メタバースのいま」 (株)360Channel 社長 中島健登氏 <体験会> 「ブロックチェーン技術体験」 「Magic Leap2」によるMR(複合現実)体験
参加者	94名

※NFT(非代替性トークン)

名称	大学生とプログラミングの基礎を学ぼう!
開催日	令和5年3月4日(土) 10時00分～17時00分
会場	Y-BASE
主催者	山口県教育委員会・(一財)山口県デジタル技術振興財団
内容	<特別講師> 大学AIスペシャリスト集団 CDLE Youth メンバー3名 <カリキュラム> ・Pythonの基礎を学ぼう ・Turtleグラフィックスでアンパンマンの絵を描こう ・ノーコードAIツールを体験しよう ・大学生と交流しよう
参加者	小・中学生16名(現地参加9名、オンライン参加7名)

○ イベント施設を活用した講演会等の支援

名 称	やまぐち高校生ICTコンテスト2022最終審査会 (高校生のICT活用促進と幅広いデジタル人材育成を目的に開催)
実施日	令和5年1月28日(土) 13:30~17:30
会 場	Y-BASE・多目的シアター・イベントホール
主 催 者	山口県教育委員会
内 容	プレゼン発表、最終審査及び表彰式
参 加 者	11校(17チーム)50名

(2) 全県的なDXの推進

デジタル社会の実現に向け、全県的なDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」や官民連携のデジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」を核としたデジタル技術を活用した地域課題の解決やDX推進を担うリーダー人材の育成、データ利活用の環境整備等を行った。

ア やまぐちDX推進拠点関連事業

① やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」の運営

全県的なDXを推進するため、行政や民間企業、大学等の多様な主体がDXを相談することができ、内容に応じてDXコンサルティングやデジタル化の技術的支援、デジタル人材の育成等を行う中核施設として、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を運営した。

また、Y-BASEのクラウド型ICT基盤として、利用者がクイックにデータ分析やアプリケーション開発ができる「Y-Cloud」及び官民の様々なデータを収集・加工・分析等ができる「山口県データプラットフォーム」を運用した。

名 称	やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」
開 設 日	令和3年11月1日
場 所	ニューメディアプラザ山口(NPYビル)10階 (267.20 m ²) 同1階に「サテライトスペース」
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外のDX情報が集まる情報共有機能 先進技術のデモ展示 ・DX相談窓口・DXコンサルティング機能 ・データ分析や実証実験を行うICT環境の提供/技術サポート 「Y-Cloud」・山口県データプラットフォームの運用 ・デジタル人材育成機能（勉強会・セミナーの開催等） ・「デジテック for YAMAGUCHI」の出会い・交流の場
運営概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日 月～金（土日・祝日、年末年始は閉館）（※） 10:00～17:00（事前予約があれば20:00まで延長） ・運営人員 常時2～3名配置（運営スタッフ・専門人材） ・利用料金 無料
施設運営	西日本電信電話(株)山口支店(山口市)、NTTビジネスソリューションズ(広島市)へ委託

- Y-BASEのサテライト施設の開設
全県的なDX推進に向けた取組みをさらに強化するため、市町と連携して、Y-BASEのサテライト機能を構築した。

名 称	Y-BASE・宇部ブランチ	Y-BASE・防府サテライト
開 設 日	令和4年5月16日	令和4年11月5日
開設場所	宇部市中央町3-10-12 宇部産業共創イノベーションセンター「志」内 〔 起業・創業や企業経営等に対する支援施設 〕	防府市八王子 2-8-9 デザインプラザHOFU 1階 防府市創業交流センター内 〔 中小企業の経営や創業に対する支援施設 〕

- Y-BASEの利用の状況
令和5年2月から開館日を変更し、「火～土」から利用者ニーズの高い平日「月～金」とし、DXコンサル枠を拡大した。

年度	利 用 者		利用者アンケート		稼働率 (平日)	備 考
	団体数	人 数	満足度	利用希望		
3年度	247	1,396	95.1%	94.3%	73.6%	R3.11開設
4年度	622	2,750	96.9%	95.7%	78.5%	
累 計	869	4,146	96.1%	95.1%	77.2%	

- DXコンサルの件数

区 分		件 数	備 考
DXコンサル案件数		169	令和3年度38件、令和4年度131件
対応状況	終了案件数	113	
	継続案件数	56	

[実装済みの事例]

- ・野犬被害に関する市民向け注意喚起に向けたデータ可視化
- ・パブリッククラウド環境を用いたWebサービスの動作検証
- ・行事予定のipadによる一部業務のペーパーレス化
- ・Web会議ツールを用いた会社説明会及び求職者面接のオンライン対応
- ・顧客情報のデジタル化
- ・レンタカーの利便性向上に向けた商材情報や事例などの検討材料の提供
- ・動画教育コンテンツ作成支援システム(TEBIKI)とスマートグラス(V-CUBE)を組み合わせた技術検証
- ・グループウェア(Microsoft365)の本格導入、利用活性化に向けた進め方に関する情報提供
- ・自動車代理店での事務業務・営業業務でのデジタルを活用した効率化

- セミナー・勉強会の開催状況

開催日	内 容	備 考
4/20(水)	オンラインセミナー「DXに生きるクラウド活用セミナー」	
4/27(水)	オンラインセミナー「話題のテクノロジー メタバースを学び体験しよう！」	

6/8(水)	オンラインセミナー「人々の行動を読み解く位置情報データ活用セミナー」	
6/29(水)	オンラインセミナー「さわってみようAWSクラウド～AWSクラウドとAIサービス活用のヒント～」	
7/29(金)	オンラインセミナー「業務改善を手軽に始められる「Kintone 入門」セミナー」	
8/6(土)	夏休み親子イベント「プログラミングでトイドローンを飛ばそう」	
8/25(木)	ワークショップ「ラーメン×Tableau 山口のラーメン情報を Tableau で見てみよう！」	
9/17(土)	ワークショップ「ラーメン×Tableau 山口のラーメン情報を Tableau で見てみよう！(第2回)」	
10月	デジタルマンスリー (後記⑦参照)	
11/4(金)	Y-BASE 開設1周年記念イベント「公開CIOミーティング～やまぐちのデジタル社会の未来～」	
11/29(火)	オンラインセミナー「業務改善に使える「Google Workspace」活用セミナー」	
2/8(水)	ワークショップ「ラーメン×Tableau 山口のラーメン情報を Tableau で見てみよう in 宇部ランチ」	
2/10(金)	ワークショップ「ラーメン×Tableau 山口のラーメン情報を Tableau で見てみよう in 防府サテライト」	
2/22(水)	オンラインセミナー「身近なDXコンサル事例紹介「業務改善・サービス創出の取組」」	
3/25(土)	春休み親子イベント「プログラミングでトイドローンを飛ばそう」	

② 「デジテック for YAMAGUCHI」の活動推進

デジタル技術を活用して、山口県が抱える地域課題の解決や新たな価値の創造を持続的に行うため、シビックテック的活動からビジネス的活動まで幅広く取り組む官民連携の会員制組織「デジテック for YAMAGUCHI」を運営し、会員向けの勉強会等の実施、会員同士の交流や共創活動を促進した。

名 称	官民連携デジタルコミュニティー「デジテック for YAMAGUCHI」
発 足 日	令和3年6月10日
会 員 数	デジテック・パートナー 956 (個人788、法人168) R5.3.31 現在
活動目標 テ ー マ	<共に考え、デジタル改革に挑戦し、克服する> ○少子高齢化 (結婚・出産・子育て、教育、担い手・人材、介護など) ○中山間地域 (買い物、医療、交通等の日常生活の維持・活性化など) ○若者流出 (働く場・学ぶ場、まちの賑い・魅力、生活利便性など)
会員の活動	○会員同士の交流、共創活動 ・共創プロジェクト、勉強会 (下表参照) ○会員自主企画イベント「デジテック・ミートアップ」の開催(下表参照) ○やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」の利用 (実証等のためのICT環境の利用を含む。) ○「やまぐちAIQuest」の受講 (下記イ①参照)
運営体制	○事務局運営 西日本電信電話(株)山口支店(山口市)へ委託
アドバイザー 等	○デジタルコミュニティアドバイザー 水田 千恵氏 (ヤフー(株)) 「デジテック for YAMAGUCHI」の活動に対する助言等 ○シビックテック・マネジメント 原田 哲也氏 ((株)スオウ) シビックテック的課題解決の促進等

○ 会員数の状況

年度	個人会員	法人会員	計	備考
3年度	532	114	646	R3.6 発足
4年度	256	54	310	
累計	788	168	956	

○ 会員による共創プロジェクト

No.	プロジェクト名	プロジェクト期間	課題テーマ
1	レノファ駐車場プロジェクト	R3.10～R4.4	駐車場の混雑問題の解決に向け、空き状況などを確認できる「レノファ駐車場情報サイト」の開発
2	レノファ駐車場プロジェクト 2nd Season	R4.7～R4.12	上記サイトをサポーターがより活用・投稿したくなる機能の追加
3	フードバンク在庫管理プロジェクト	R4.6～R5.2	フードバンク山口の煩雑な食品在庫管理業務をボランティアの方でも使いやすく自動化
4	フードバンクありがとう Webサイトプロジェクト	R4.12～	フードバンク山口の食品寄贈者への感謝のメッセージを Line チャットボット機能を活用し発信
5	獣害マッププロジェクト	R4.1～	中山間地域の獣害対策として、獣の目撃場所等を地図上で可視化するサイトの開発

○ イベントの開催

開催日	内容	備考
4/23(土)	セミナー「CS (サーバーセキュリティ) 四方山話リアルタイム～サイバーセキュリティをもっと身近に～」	デジテック・ミートアップ
6/24(金)	レノファ駐車場プロジェクト活動報告会	デジテック・ミートアップ
7/8(金)	オンラインセミナー「ブロックチェーンを活用した地域課題の解決 (実践編) ～Web3.0 の世界における地域×ブロックチェーン技術の未来像～」	デジテック・ミートアップ
8/24(水)	セミナー「サーバーセキュリティ対策 できることから始めよう」	デジテック・ミートアップ
12/6(火)	オンラインセミナー「RPAで始めるDXの第一歩 ～中小企業版デジタル化のススメ～」	デジテック・ミートアップ
12/13(火)	セミナー「事業者向けサイバーセキュリティ対策のススメ」	デジテック・ミートアップ
2/25(土)	シビックテック活動報告会～市民のデジタル技術で課題解決に挑戦～	会員交流イベント
3/10(金)	LT (ライトニング会) 「デジテック LT 2nd」	会員交流イベント
3/23(木)	デジテック・オープンイノベーション取組み発表会	

注) デジテック・ミートアップ: 会員自主企画イベント

③ デジテック・オープンイノベーションの実施

「デジテック for YAMAGUCHI」の会員同士の連携による実証活動を支援するため、新たなソリューションなどの先進事例の創出を目指す「デジテック・オープンイノベーション」制度により提案を募集し、実証に向けた取り組みを支援した。

○ 提案採択テーマ及び提案者

No.	提案採択テーマ	提案者（所在地）
1	高齢者の生活利便性向上に向けた支援サービスの構築	(株)SYNCHRO(東京都)、いさむや第一交通(株)(山口市)、山口市
2	ドライブレコーダーを活用した道路インフラ維持管理の最適化	三井住友海上火災保険(株)(東京都)、八千代エンジニアリング(株)(東京都)、下関市
3	デジタルマップを活用した防災啓発による地域防災力の強化	(株)エイム(宇部市)、(一社)やまぐちGISひろば(宇部市)、NPO 法人防災ネットワークうべ(宇部市)、宇部市

④ 「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」の実施

複数自治体の案件を同時に公募することで、スタートアップ企業等に対して訴求力の高さを確保している「Urban Innovation JAPAN」の枠組みを利用し、行政課題とその解決を目指す企業等とのマッチングを図り、デジタル技術を活用して地域課題の解決を図る「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」を実施した。

○課題及び協働企業 35課題提案→40企業募集→8課題マッチング

No.	課題（提案者）	協働企業名（所在地）
1	地域活動をデジタルでもっと豊かに！ デジタル時代の地域拠点の姿を一緒にかたちづくり たい！！（宇部市）	Serendipity Pilot 合同会社 （東京都）
2	24時間365日、いつでも思い立ったときに健診の予 約を！ デジタルの力で働き盛りの世代の受診率を アップして、健康寿命を伸ばしたい！（長門市）	(株)エスシーシー（福岡県）
3	ぶち、せんない！（ものすごく面倒くさい）スポー ツ開放の手続きをできるだけ簡単にして、仲間と気軽 にスポーツを楽しめるまちにしたい！（周南市）	エクスフィールド合同会社 （周南市）
4	子どもたちが、見て、聴いて、感じて、ふるさとの興 味を持つデジタル社会科副読本教材をつくりたい！ （山陽小野田市）	(株)タカヤコミュニケーションズ（大阪府）
5	問い合わせ対応にAIの力で革命を！ 問い合わせ履歴から自動生成でFAQ（よくある質 問）をつくりたい！（県）	Helpfeel(株)（京都府）
6	高付加価値木材の生産者と材木業者のマッチングシ ステムを構築したい！（県）	(株)woodinfo（東京都）
7	「えっ！まさか、私が被害にあうなんて…」 サイバー犯罪やネット被害の脅威を「自分ごと」とし て体験できる場をつくりたい！（県）	(株)サイバーセキュリティバンク（東京都）
8	災害時の被害把握を迅速に！ 現場報告システムで初動体制をさらに早く（県）	(株)Spectee（東京都）

・事業運営 NPO 法人コミュニティリンク（兵庫県）へ委託

○ 令和3年度事業成果の広域展開

令和3年度に阿武町で実施した「聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通ができる相談支援ツールの開発」の取組みから生まれた「窓口相談支援システム」につ

いて、他町においても導入への強い希望があったことから、山口県町村会と連携して、県内全6町において導入に向けた実証を、令和4年10月から開始した。

また、「窓口相談支援システム」について、広く周知するとともにユースケースを拡大するため、Y-BASEのサテライトと連携し、実証を実施した。

- ・「窓口相談支援システムの実証に向けた連携と協働に関する協定」の締結

締結日	令和4年8月5日
締結者	山口県、山口県町村会、(株)アイシン（愛知県）、 (一財)山口県デジタル技術振興財団

⑤ データドリブンの推進

官民のデータ利活用を推進するため、メタデータAI解析機能を活用するとともに、スマートシティ実現に向けたデータ利活用プランを作成するワークショップを開催したほか、オープンデータを活用するためのプラグイン開発や「山口県オープンデータカタログサイト」の機能強化を実施した。

名 称	官民データ利活用ワークショップ
開 催 日	2日間（10/18(火)、11/8(火)）、成果報告会（11/22(火)）
参 加 者	20名（県3名、市町7名、民間10名）
テ ー マ	スマートシティ <利活用アイデア> ・教育「地域で学び合える学習コミュニティ」 ・交通「行動データに基づく高齢者の生活支援」 ・防災「安全で魅力ある川遊びを通じた防災教育」 ・防災「災害時にも活用できる子ども安心情報」
事業運営	富士通 J a p a n (株)山口支社（山口市）に委託

○ AIツールの活用

令和3年度に「山口県オープンデータカタログサイト」内に構築した、オープンデータ及び関連する事例情報の各種外部サイトへのリンク情報を検索・可視化できるシステムを提供した。

○ 3D都市モデルの活用検討

デジタルツイン(※)の概念を都市スケールに拡張した「3D都市モデル」整備促進を目的とし、整備した三次元地形データの活用イメージを山口県内で広げるため、三次元地図データの活用事例の検討と創出を実施した。

令和4年度は、マラソンを題材に、ランナーの走行データを用いて、3D都市モデル上で、ランナーの時間経過に伴う移動シミュレーションを実現した。

※デジタルツイン：現実の世界で収集した様々なデータを活用し、コンピュータ上で再現する技術のこと

⑥ 課題解決エンジニア・キャンプの実施 [新規]

地域の課題をデジタル技術で解決する機運醸成や、新たなネットワークの形成を図るため、県内外のエンジニア等を対象に、中山間地域において、地域の関係者等と協力しながら課題の把握や解決策の検討を行い、解決一助となる試作品を作成するイベントを実施した。

名 称	エンジニア・キャンプ YAMAGUCHI	
開 催 日	令和4年10月29日(土)・30日(日) 1泊2日	
場 所	宇部市小野地区(主会場:アクトビレッジおの)	
参 加 者	県内外エンジニア・学生等 20名、地域関係者、地元企業、団体など	
日 程	1日目	・中山間地域の課題について、現地視察等を通じて把握 ・参加者等がグループとなって解決策を検討
	2日目	・課題解決につながる試作品の作成
設定課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の草刈りをもっと楽しみたい ・獣害を軽減するためサル等を追い払いたい(※) ・地域での高齢者の見守りを強化したい ・遠方在住の方が持つお墓、空き家の近況を届けたい 	

※獣害対策として、獣の目撃情報をマッピングするサイトを、実際に地域で活用できるようにイベント参加者4名が開発中(前記ア②参照)

⑦ やまぐちデジタルマンスリーの開催 [新規]

国が定めるデジタル月間(10月)・デジタルの日(10月2日・3日)と連携した集中的なデジタルイベントを開催することにより、県民のデジタルに関する機運・リテラシーの向上や「デジテック for YAMAGUCHI」の活性化を図った。

○イベントの開催状況

開催日	イベント概要	備 考
10/1(土)	親子イベント「プログラミングでアニメーションをつくってみよう！」	
10/3(月)	データ分析・可視化実践講座	後記イ②参照
10/5(水)	統計データ利活用セミナー	県主催
10/7(金)	やまぐちデザインシンキングカレッジ・ベーシックプログラム(1回目)	後記イ④参照
10/8(土)	動画作成体験デジタルワークショップ(学生・社会人向け)	
10/12(水)	シニア世代向けデジタル体験会「写真や動画で家族・友人等とコミュニケーションをしてみよう！」	
10/18(火)	官民データ利活用ワークショップ	前記ア⑤参照
10/19(水)	やまぐちデータアカデミー グラレコ講座	後記イ②参照
10/21(金)	Y-BASEデモ展示のリニューアル	
10/22(土)	やまぐち AI Quest ハンズオン講座	後記イ①参照
10/26(水) 27(木)	やまぐちデジタルソリューション展示会	前記(1)参照
10/29(土) 30(日)	エンジニア・キャンプ YAMAGUCHI	前記ア⑥参照

イ デジタル人材の育成

① やまぐちAIQuestの実施

デジテック for YAMAGUCHI の会員を対象に、オンラインによるAI学習プログラムを無料開放し、受講者がデータサイエンスに関する基礎～中級スキル（IT部門の仕事ができる程度）を身につけることができる環境を整備した。

また、この受講者を対象に、「画像分類」をテーマとしたAI開発等の実践的なハンズオン勉強会を開催した。

名 称	[基礎的レベル]	[中級的レベル]
	e-Learning 講座 (オンライン型AIスキル学習講座)	ハンズオン勉強会
開 催 日	フリー (会員各自)	3日 (7/30、8/27、10/22)
受 講 者	345名 (R5.3.31 現在)	e-Learning 講座受講者 21名 (学生、民間企業、行政関係者等)
コ ー ス テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ・AI リテラシーコース ・ノーコードデータ分析コース ・Python データ分析入門コース ・Python モデリング入門コース ・Deep Learning 入門コース ・Python モデリングコース ・Python ベーススキルコース 	テーマ「画像認識モデルの作成」 (様々な画像 (10,000 枚) の被写体を認識し、あらかじめ設定された 20 種類のラベルに分類する AI 予測モデルの作成)
事業運営	(株) SIGNATE (東京都) へ委託	

② やまぐちデータアカデミーの開催

県・市町職員を対象として、データの利活用手法を習得し、行政の各現場にEBPM(※)の実装を促すため、サービス立案型のデータアカデミーを開催した。

また、データ分析の中でも利用頻度が高く、課題発見・仮説立案に直結する可能性の高いデータ可視化ツールである「Tableau」の活用ノウハウを習得する実践講座を開催した。

※EBPM (エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング) : 証拠に基づく政策立案

名 称	やまぐちデータアカデミー	グラレコ (※) 講座
開 催 日	4日間 (7/12、8/8、8/29、1/16) 報告会 (1/24)	1日間 (10/19)
参 加 者	35名 (県19名、市町16名)	17名 (県17名)
研 修 テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ・住民からの問い合わせ対応サービス ・庁内情報・ノウハウ共有サービス ・行政業務の標準化支援サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラレコとは何か ・演習と発表会
事業運営	(一社) シビックテックラボ (静岡県) へ委託	

※「グラレコ」 (グラフィック・レコーディング)

名 称	データ分析・可視化実践講座
開 催 日	4日間 (9/21、10/3、10/20、11/18) 報告会 (12/20)
参 加 者	22名 (県9名、市町6名、民間7名)

研 修 テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住みやすさ分析 ・防犯意識の向上対策検討 ・県内就職の促進施策立案 ・山口県の経済状況分析 ・山口県の農業生産力分析
事業運営	日本電気(株)中国支社(広島県)へ委託

③ ローコード基礎研修の実施

県・市町職員を対象として、できる限りコードを書かないで素早くアプリケーションを開発するローコードツール(プログラミングの知識がなくても簡単にシステム開発ができるアプリ等)の活用研修を実施した。

名 称	ローコード基礎研修
参加者	32名(県16名、市町16名)
研修日程	①基礎研修 1日(7/13) ②ハンズオン研修 3日(7月～8月) ③現場実装研修 随時(8月～11月) ④成果発表会 1日(2/7) ⑤業務改善促進セミナー [講演者 加古川市スマートシティ推進担当課長 多田 功 氏] [テーマ ローコードを活用した業務改善の内製化]
ローコードアプリ 作成事例	<ul style="list-style-type: none"> ・PDF文書「2次元コード生成」アプリ ・還付金の振込先口座申出「WEB申請」ツール ・青果市場の市況状況報告管理管理アプリ ・職員研修管理業務 ・海岸施設の点検管理アプリ ・各種申込自動抽選/メール送信フロー ・施策立案/公表システム ・新型コロナウイルスワクチン管理台帳
事業運営	(株)NTTドコモ中国支社山口支店(山口市)へ委託

④ やまぐちデザインシンキングカレッジの開催 [新規]

ユーザー視点に立った本質的な課題の把握などに有効な「デザイン思考」について、県内の幅広い主体に対して理解促進を図るとともに、県内の企業・団体等におけるデザイン思考を活用した実践的な取組の中核を担う人材を育成するための「やまぐちデザインシンキングカレッジ」を開講した。

【オープニング(開講)イベント】

開催日	令和4年8月29日(月)
会 場	Y-BASE
参加者	130名(現地会場30名、オンライン100名)
内 容	<開講メッセージ> ・デジタル庁デジタル監 浅沼 尚氏 <特別講演> 「DXの推進とデザイン思考」 ・(株)コンセント代表取締役/武蔵野美術大学造形構想学部教授 長谷川敦士氏 <講演・ワークショップ>

	「システム×デザイン思考～企業でデザイン思考がうまくいかないわけ～」 ・慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教 広瀬 毅氏、中田実紀子氏
--	--

【ベーシックプログラム】

デザイン思考による課題設定からアイデア創出まで一連の流れを体感するプログラム
[ワークショップテーマ] 山口県健康寿命を日本一にするには！

開催日	3日 (10/7、11/11、12/10)
会場	Y-BASE
参加者	62名 (民間企業、教育機関、行政関係者等)
講師	NTT西日本デザインシンカー

【アドバンスドプログラム】

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 (慶應SDM) 独自のアプローチである「システム×デザイン思考」を本格的に学び、デザイン思考の実践力を身に付ける長期プログラム

開催日	①集中ワークショップ3日 (11/9、11/17) ②デザインワーク4日 (12/1、12/15、1/12、1/26) ③最終発表会(※) 1日 (2/17) ④交流会 (フォローアップ) 1日 (3/24)
会場	Y-BASE
参加者	23名 (民間企業、教育機関、行政関係者等)
講師	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教 広瀬 毅氏、中田実紀子氏

※最終発表会

内容	○最終発表会 (4チーム) ○特別対談「デザイン思考の実践と定着に向けて」 ・パネラー 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 白坂成功氏 山口県CIO補佐官 関 治之氏 ・ファシリテーター 山口県知事 村岡嗣政 ○修了式 修了証 (オープンバッジ) 授与
----	--

・事業運営主体 西日本電信電話(株)山口支店 (山口市) へ委託

⑤ ワールドAIコンペティションの開催 [新規]

AIを活用した地域課題の解決や新たな価値を創造できる高度なAI人材を発掘・育成するため、「ワールドAIコンペティション YAMAGUCHI」を開催した。

名称	ワールドAIコンペティション YAMAGUCHI
応募期間	令和4年12月16日 (金)～令和5年2月16日 (木)
課題	「ドライブレコーダーから要補修施設を検出するAIモデルを作成しよう」 (県内走行車両のドライブレコーダー動画を分析して、道路上の補修が必要な物体 (区画線、道路標識、道路照明) を検出するAIモデルを作成し、その認識精度を競う)
参加人数※1	528名 (一般部門522名、U18部門6名)

投稿者数※2	99名（一般部門95名、U18部門4名）
投稿チーム数	88チーム（一般部門84チーム、U18部門4チーム）
投稿件数	1,715件
表彰式	・日時 令和5年3月11日 ・入賞者 6名（一般部門3名、U18部門3名）オープンバッジ授与 ・特別講演「AIの現在～トレンドと将来性～」 （株）SIGNATE 代表取締役社長 齊藤 秀氏
事業運営	（株）SIGNATE（東京都）へ委託

※1：データ分析を開始した者 ※2：AIモデルを作成し投稿した者

ウ 未来技術活用推進受託事業（県受託事業）

山口県における Society5.0 の実現に向け、県民や企業、自治体が早期に 5G 等未来技術を活用できる取組を推進するため、山口県未来技術活用統括監の配置やセミナーを開催した。

① 山口県未来技術活用統括監の配置

- ・ 配置時期 令和2年6月1日から
- ・ 配置職員 田中貴光（NTT西日本(株)から出向）
- ・ 配置先 県デジタル推進局内他
- ・ 活動内容 5G等未来技術の利活用促進による地域活性化・産業振興
県のデジタル化推進施策の企画立案
市町のデジタル技術等の活用促進
5G研究会等の企画・運営
5G基盤整備促進に対する調整、助言 他

② セミナーの開催（再掲）

名称	先進デジタル技術活用セミナー&体験会 ～Web3.0、NFT(※)、メタバースの現在と展望について～
開催日	令和5年2月6日(月) 10時00分～17時00分
会場	多目的シアター・Y-BASE
主催者	山口県・(一財)山口県デジタル技術振興財団
内容	<セミナー> 「Web3.0とAIアートの可能性」 (株)Creator's NEXT CEO 窪田 望氏 「メタバースのいま」 (株)360Channel 社長 中島健登氏 <体験会> 「ブロックチェーン技術体験」 「Magic Leap2」によるMR(複合現実)体験
参加者	94名

※NFT（非代替性トークン）

(3) オープンデータの普及・推進

行政機関が保有する行政データ（オープンデータ）を県民や民間事業者等誰もがインターネットを通じて容易に利活用できる専用サイト「山口県オープンデータカタログサイト」（令和元年11月27日公開）の適切な運用管理を行うとともに、県・市町と連携して公開データ数の登録増に努めた。

【公開データ数等の状況】

年度	公開データ数	アクセス数（月平均）	ダウンロード数（月平均）	備考
元年度	167	587	85	
2年度	332	9,436	474	コロナ関連増
3年度	355	2,090	395	コロナ関連減
4年度	370	1,749	387	〃

注）公開データ数は各年度末現在

(4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進 [新規]

誰一人取り残さないデジタル社会の実現を図るため、デジタル機器の活用に不安のある高齢者等がデジタルの「楽しさ」や「利便性」を理解し、より豊かな生活を実現できるようデジタルデバイド対策を実施した。

区分	実施者	取組事例
事業者提案型 （業務委託）	3事業者	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォンなんでもサポート号キャッシュレス体験（ソフトバンク（株）（東京都））・シニア向けeスポーツ体験会（エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ（株）中国支社（広島市））・スマホ体験講座「スマホをもって秋探しの旅に出よう！」（KDDI（株）（東京都））
市町提案型 （補助金交付）	17市町	<ul style="list-style-type: none">・スマホ活用講座（スマホ・タブレット操作、キャッシュレス決済、Line、YouTube等）・高齢者デジタル活用リーダー研修（操作、SNS発信等）・スマホよろず相談・デジタルサイネージによる情報発信

(5) コンピュータールームの管理運営

NPYビル7階を「県情報センター」と位置づけ、情報処理機器が安全かつ安定して稼働できるように整備しており、県民サービスに直結する各種行政システムのサーバー機器類の安定稼働に努め、適切な管理運用を行った。

(6) 市町ネットワークの管理運営

やまぐち情報スーパーネットワーク（YSN）を利用した市町ネットワークの一元化による運用管理を図り、市町ネットワークの適切な管理を行った。

2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業

(1) 不動産の管理運営

NPYビルがデジタル技術振興の拠点施設としての役割を果たすため、安定かつ安全な施設運営に努めた。

○ テナントの入退居状況

県・山口市、不動産会社等に積極的に働きかけた結果、入居者が1団体(57.89㎡)あり、平成4年度末の入居率は87%（対前年度末比1ポイント増）となった。

【入退居の状況】

年度	入居数(面積)	退居数(面積)	入居率	備考
元	2(160.26㎡)	0(0㎡)	94%	
2	3(135.37㎡)	2(419.91㎡)	89%	
3	4(780.28㎡)	3(921.31㎡)	86%	
4	1(57.89㎡)	0(0㎡)	87%	

注) 入居率は、各年度末現在。

○ 「NPYビル中期（5カ年）修繕計画（令和2～6年度）」の実施

修繕計画に基づき、ビル外壁廻り大規模修繕工事（外壁タイルのひび割れ、シーリング劣化、外部建具の錆等の補修）を令和3年度から継続実施した。

他の計画工事は翌年度以降に延期した。

【令和4年度修繕工事の実施状況】

(単位:千円)

工事名	計画額	実施額	工期	施工業者
NPYビル外壁廻り大規模修繕工事	70,000	60,060	R3.5～R5.7	(株)カシワバラ・コーポレーション(岩国市)
ビル警備管理システム更新	30,000	0		令和5年度発注
各階分電盤開閉器取替	29,000	0		延期(点検良)
計	129,000	60,060		

(2) 利用施設（イベント施設）の管理運営

利用施設（多目的シアター・イベントホール）について、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和等もあり、多目的シアターの利用日数は、大幅に増加した。

また、スタインウェイピアノを活用したイベント「ピアノ試奏会」を企画し、多くの利用があった。

【イベント施設の利用状況】

年度	多目的シアター			イベントホール		
	利用日数	オープン日数	利用率	利用日数	オープン日数	利用率
30	88	355	25%	39	359	11%
元	99	358	28%	22	361	6%
2	64	326	20%	6	349	2%
3	63	341	18%	12	354	3%
4	120	342	35%	15	343	4%

- ・ ピアノ試奏会：開催日数 18 日間 利用者数 129 人（組）

○ ミニギャラリー（2階）は、一般向けに生涯学習等の成果の発表の場（作品展示）として無償提供し、ビル利用者等の交流の場として利活用を図った。

- ・ ミニギャラリー作品展示：展示者数 13 名（組） 展示日数 238 日

3 情報通信の格差是正事業

(1) 移動通信用施設等の管理運営

携帯電話を利用することが困難な地域（不感地域）対策として設置した岩国市の鉄塔及び基地局等の通信設備等の適切な資産管理を行った。

事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業の内容を補足する重要な事項」がないので省略する。